

としょかんたより 1月号

令和8年1月
飯山満小学校
図書館

あけましておめでとうございます

新しい一年が始まりました。冬休み中は、たくさん本を読むことができましたか？今年も図書館で、素敵な本と出会ってくださいね。



2026



新しい本が届きました

図書館に新しく入った本の一部を紹介します。読みたい本があったら、早めに予約をしてください。

からだたんけんれっしゃ	濱田真理／文 大橋慶子／絵 清水俊明／監修	交通新聞社
一年一組せんせいあのね 2	鹿島和夫／著 ヨシタケシンスケ／画	理論社
パンどろぼうとスイーツおうじ	柴田ケイコ／作	KADOKAWA
とろとろおばけ	たなかひかる／著	文響社
超ビジュアル！ 世界の歴史人物大事典	仲林義浩／監修	西東社
あした話したくなる おもしろすぎる漢字の世界	青木伸生／監修 朝日新聞出版／編著	朝日新聞出版
街どろぼう	juna ida／著	福音館書店
とろとろおばけ	たなかひかる	文響社
霧島くんは普通じゃない 13巻	麻井深雪／作 ミユキルリア／絵	集英社

いちがつ とくしゅううてんじ しょうかい 一月の特集展示の紹介

特集1『馬が出てくることわざ・慣用句』

日本人が古くから使っていることわざや慣用句の中には、馬がたくさん登場します。「馬の耳に念仏」「塞翁が馬」「馬が合う」などがありますが、どんな意味か知っていますか？ 気になった人は、ぜひ図書館の展示コーナーを見に来てください。またことわざや慣用句、四字熟語、故事成語の本などもあわせて展示しています。



特集2『馬が出てくる絵本・物語の本』

図書館には馬が出てくる絵本や物語の本もたくさんあります。特集コーナーに展示しているので、ぜひ読んでみてください。ここではその中の一部を紹介します。



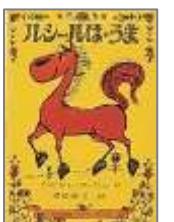
「スーウの白い馬」

大塚雄三／再話 赤羽未吉／絵
昔、モンゴルの草原にスーウという少年がいました。ある日、道ばたにたおれていた生まれたばかりの白い子馬を見つけ、大事に育てましたが……。



「うまかたやまんば」

おざわとしお／作 赤羽未吉／絵
ある日、馬方はたくさんの魚を仕入れ、馬に乗せて歩いていました。峠道にさしかかると、やまんばに「魚をおいていけ」と言われ、追いかけられます。



「ルシールはうま」

アーノルド・ローベル／作
ルシールはおひやくしようさんの家の馬。すきを引っぱり畑で働くことにあきあきしたある日、帽子や服を買って美しく着かざってみました。



「バレエをおどりたかった馬」

H・ストルテンベルグ／作
田舎で何不自由なく暮らしていた馬が、ある日突然、バレエの美しさにとりつかれ、町のバレエ学校へ入学します。

ほん ただ ばしょ もど 本は正しい場所に戻しましょう

本を棚に戻すとき、分類記号を確認せずに、適当な棚に入れてしまっていませんか？ 迷子になった本はなかなか見つけることができず、次に借りたい人が困ってしまいます。本の背に貼ってある分類記号をよく見て、決められた場所にきちんと戻しましょう。戻す場所がわからないときは、図書の先生に声をかけてくださいね。

